

建築鉄筋コンクリート構造学 Reinforced Concrete Structure
--

教員名	大野義照（おおの よしてる）							
教員連絡先 （研究室所在地・TEL）	吹田キャンパス S 1 棟 7 階 728 室 電話：06-6879-7635							
E-MAIL アドレス	oono@arch.eng.osaka-u.ac.jp							
履修対象	建築工学コース（2 年次、3 年次）							
単位	4		セメスター			4,5		
受講条件	特になし							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築物躯体の主要な構造である、鉄筋コンクリート構造について、その原理と部材の特性を理解するとともに、実際の断面設計まで行えるようにする。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○	○			◎			
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育目標
	鉄筋コンクリートに関する基礎知識（3 回）		鉄筋コンクリートの原理、歴史的な背景、および鉄筋コンクリート構造の特徴についての基礎的な知識を身につける。 （包括 3 回）					A E
	各種部材の曲げ設計（14 回）		基礎、柱、梁、床スラブの曲げに対する断面解析と設計に関する基礎的な知識を身につける。（包括 9 回） 部材断面設計、ひび割れ制御設計、部材の靱性設計、耐久設計などに関する高度な専門知識を身につける。 （高度 5 回）					E B
	せん断に対する設計（4 回）		柱、梁、耐震壁などのせん断に対する抵抗機構について基礎的な知識を身につける。（包括 2 回）。 せん断設計についての専門的な知識を身につける。 （高度 3 回）					E
	設計法（4 回）		許容応力度設計法、終局強度設計法、限界状態設計法など各種の設計法についての基本的な知識を身につける。 （包括 2 回） 各種設計法に関する専門的な知識を身につける。 （高度 2 回）					E
	各種コンクリート構造（3 回）		プレキャストコンクリート構造、プレストレストコンクリート構造について基本的な知識を身につける。（包括 2 回） プレキャストコンクリート合成部材やプレキャストコンクリートの接合方法など専門的な知識を身につける。 （高度 1 回）					E
	学期末試験（2 回）							
教科書	特に指定しない（授業中に資料を配付する）							
参考図書・文献等	日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」丸善出版							
成績評価方法・評価基準	A と E については学期末試験（80％）で評価する。総点で 60 点以上を合格とする。B については出席態度（20％）で評価する。							
オフィスアワー	随時 e-mail にて対応							
コメント	特に指定しない（授業中に資料を配付する）							